

平成16年度

(社)日本放射線技師会 放射線機器管理士部会総会

開催日時 平成17年11月21日(月曜日)11時30分~12時15分

場 所 千葉幕張メッセ国際会議場 201

出席状況 部会員 48名、非部会員 19名

小川正人事務局長の開会宣言、中村泰彦部会長挨拶の後、松永博氏を議長に選出、議事録署名人に神谷靖治、小川正人を指名し、議事に入った。本総会は、平成17年11月21日現在の機器管理士部会会員数172名に対して、48名の出席があり、放射線機器管理士部会規約の第5章第17条の2の会員定数の10分の1を満たすことから成立した。

第1号議案 平成16年度事業報告

(1) 総括

下記の平成16年度事業計画に則った活動を行った。特に、機器管理施設認定への方向性の模索のための放射線機器管理士活動調査、および機器管理データベースの構築と故障分析についての2項目については重点的に活動を行った。また、問題点とされる認定資格の更新制度と放射線機器管理士部会の組織・体制作りについては最優先・最重要案件として日本放射線技師会との調整を行った。

1. 日常点検・定期点検の実施とその報告方法の検討
2. 点検マニュアルの作成
3. 受入試験の検討(試験項目および方法)
4. 機器管理データベースの構築と故障分析
5. 機器管理施設認定への方向性について検討
6. 都道府県放射線技師会の放射線機器管理士との連携

(2) 平成16年度会務報告

1) 会員異動

前年度会員	117名
新入会	44名
退会者	2名
会員数(平成17年9月30日)	159名

2) 会議

平成16年10月14日	長崎学術大会会場使用料について(メール会議)
平成16年11月3日	JART関連6団体打ち合わせ会議(長崎)
平成16年11月15日	部会員および都道府県技師会への機器管理士の活動状況のアンケート調査(メール会議)
平成16年12月16日	認定講習会講師推薦について(メール会議)
平成17年2月3日	機器管理士更新制度について(メール会議)
平成17年2月11日	平成17年度部会事業および委託研究に関する日本放射線技師会との打ち合わせ(福岡)
平成17年2月18日	機器管理士更新制度について日本放射線技師会との打ち合わせ(第1回 本部)
平成17年4月25日	新更新制度等に関する日本放射線技師会との打合せ
平成17年5月2日	機器管理士更新制度について(メール会議)
平成17年5月8日	機器管理士更新制度について日本放射線技師会との打ち合わせ(第2回 本部)

3) 公文書 (1601~1604)

- 1601 放射線機器管理士部会入会申込受理について(申込受理書)
- 1602 放射線機器管理士部会申込手続き完了について(手続き完了通知)

- 1603 平成15年度放射線機器管理士部会総会について
 (日本放射線技師会への総会開催報告)
 1604 平成15年度放射線機器管理士部会総会報告ならびに平成16年度部会費納入のお願い

4) 広報

- 平成16年10月11日 平成15年度総会開催案内(HP)
 平成16年12月8日 平成15年度総会開催御礼(HP)
 平成17年1月5日 「JART」2月号原稿
 平成17年6月30日 放射線機器管理士活動状況調査のお願い(HP)
 平成17年8月17日 コングレスブック掲載原稿
 平成17年9月26日 平成16年度総会開催案内(HP)

第2号議案 平成16年度収支決算報告

(1) 会費納入状況

前年度会員 117名 本年度会費納入者 85名 納入率 73%

(2) 平成16年度収支決算報告

収入の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	増減	付記
会費収入	個人会員収入		450,000	396,000	54,000	個人会員 3,000円×85名 新入会 3,000円×44名 平成17年度会費 3,000円×3名
事業収入	委託研究費		100,000	0	100,000	
	認定バッジ販売収入		70,000	25,800	44,200	800円×11個(総会時) 1,000円×17個(送料込)
	広告料収入		0	0	0	
雑収入	預金利息		0	8	8	
当期収入合計			620,000	421,808	198,192	
前年度繰越金			559,113	559,113	0	
収入合計		(A)	1,179,113	980,921	198,192	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	増減	付記
事業費	学術・教育費		500,000	21,000	479,000	
		講演会費	200,000	0		
		調査研究費	200,000	21,000		
		諸委員会費	100,000	0		
	出版事業費	印刷費	0	0		
		認定バッジ購入費	70,000	70,840	840	
	通信費	郵送費	62,600	19,360	43,240	
管理費	会議費		200,000	72,380	127,620	
		総会費	50,000	0		
		会議費	100,000	54,700		
		旅費交通費	50,000	17,680		
	事務諸費		46,513	2,640	43,873	
		備品費	20,000	0		
		消耗品費	20,000	2,640		
		雑費	6,513	0		
予備費		300,000	0	300,000		

当期支出合計	(B)	1,179,113	186,220	992,893
当期収支差額	(C)(A)－(B)	0	794,701	794,701
次期繰越金	(A)－(B)	0	794,701	794,701

第3号議案 平成16年度監査報告

監査報告書

社団法人日本放射線技師会 放射線機器管理士部会規約第11条第4項に基づき、平成17年11月11日、平成16年度事業および会計の収支決算について、部会長ならびに事務局長の立会いのもとに監査を行いましたので報告します。

1. 監査方法の概要

平成16年10月1日から平成17年9月30日の期間における事業ならびに会計監査のため、事業計画書、収支予算書および各事業報告書、収支決算書、議事録、文書綴り、領収書綴りの閲覧ならびに帳簿、預金通帳との照合を行った。

2. 監査結果

(1) 事業

事業計画に基づき適正に執行運営されていることを認めます。

(2) 会計

会計帳簿の記載は正確で、領収書等の証拠書類や会計処理は全て適正であり、平成16年度会計収支決算書に相違ないことを認めます。

3. 総評

(1) 部会設立当初から日本放射線技師会、認定者、放射線機器管理士部会、部会員の関係や役割が明確となっていないことや更新制度が問題となっていた現状を鑑みて、それらの問題解決に努力し積極的に組織や制度の見直しに尽力されている。今後とも会員の声の届く活動に期待したい。

(2) 医療機器の安全管理については、日本放射線技師会、日本臨床工学技士会、日本臨床衛生検査技師会の合同で適正化を厚生労働省薬務局へ要望されています。放射線の取扱いは放射線技師が実践することを前提に、放射線機器管理士の役割を盛り込むことや診療報酬へのフィードバックなどの方策を切望する。

平成17年11月11日
監事 新開 英秀 (印略)

平成16年度事業報告、収支決算、監査報告について承認された。なお、活動状況等についての広報を充実させて欲しいとの要望があり、今後解決していくとの回答を行った。

第4号議案 平成17年度事業計画(案)

認定資格の更新制度と放射線機器管理士部会の組織・体制作りについては、最優先・最重要案件として引き続き日本放射線技師会との調整を行うが、具体的な事業計画としては下記の4点を挙げる。

1. 更新申請における活動実績証の様式作成
2. 機器管理データベースの構築と故障分析
3. 放射線関連機器点検マニュアル作成
4. 都道府県放射線技師会の放射線機器管理士部会との連携

第5号議案 平成17年度予算(案)

収入の部

大科目	中科目	小科目	予算額	付記
会費収入	個人会員収入		450,000	個人会員 3,000 円 × 116 名 (159 名 × 0.73 116 名) 新入会 3,000 円 × 34 名
事業収入	委託研究費		100,000	
	認定バッジ販売収入		20,000	800 円 × 10 個(総会時) 1,000 円 × 12 個(送料込)
	広告料収入		0	
雑収入	預金利息		0	
当期収入合計			570,000	
前年度繰越金			794,701	
収入合計		(A)	1,364,701	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予算額	付記
事業費	学術・教育費	講演会費	150,000	
		調査研究費	200,000	
		諸委員会費	100,000	
		出版事業費	印刷費	0
	通信費	郵送費	62,600	
	管理費	会議費		350,000
総会費			50,000	
会議費			100,000	
旅費交通費			200,000	
事務諸費			52,101	
		備品費	20,000	
		消耗品費	20,000	
		雑費	12,101	
予備費		450,000		
支出合計		(B)	1,364,701	
収支差額		(C)(A)－(B)	0	

第6号議案 役員改選

部会発足から2年が経ち役員任期の満了を迎え、部会長ならびに監事の立候補を募ったが、立候補はなく会場から継続の要望があり承認された。

第7号議案 その他

特記なし

小川事務局長の閉会の辞で議事を終了した。

平成17年12月1日

議事録署名人 神谷靖治 印略
小川正人 印略